

# 地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 錬磨する人間

2019/4/5 (金) 発行

校長通信 NO27  
北海道日高等学校  
町田英謙

## 新年度にあたり

4月1日に新元号『令和』が公表されました。実際の対応は、新天皇が即位された後、5月1日からとなりますが、新たな時代のスタートとして、日本国民全体が期待を高めているところです。

また来年度(2020年)は、オリンピック・イヤーで、東京オリンピックが開催されてから、約60年ぶりに開催されますが、その準備にあたり今年度は日本全体が盛り上がりを見せています。

さて、平成31年度がスタートし、今年度の道教委人事異動は全員が留任となりました。同一の教職員で教育活動が行われていきますが、前年度より一歩前進できるよう、課題解決を図り、スムーズな学校運営に協働し、本校の発展と生徒の健全な育成に向け、ご活躍を祈念申し上げます。

3月12日(火)に、進級認定会議が開催されました。第1学年の在籍11名、第2学年の在籍10名、全員の進級を認定しました。今年度の成績不振者や欠席時数不足者はいずれもなし、成績優良者もそれぞれ4名ずつ報告を受けました。教科指導にあたった教員の皆様においては、平素の授業、審査成績や提出物、グループワークやペアワークや発表能力に関して適正な評価をしていただき、ありがとうございました。

また、今回の終業式で表彰となる皆勤賞の1年生の山下君、2年生の高橋君には、学校も産業学習も1時間の欠課や遅刻もなく、1年間の努力に敬意と賛辞を送りたいと思います。

改めて、日高高校は、夜間定時制(単一:全道で2校)の町立高校です。昼間は町教委が主催する産業学習で様々な体験学習、夜は日高高校で学び、日高高校寮で協同生活する教育環境です。

本校は、全国から生徒が『夢や希望』を持って入学してきております。

○3年生は10名在籍、うち道外が7名(神奈川・岩手2・山形・岐阜・兵庫・東京)、道内が3名(札幌・日高町富川・占冠トマム)

○2年生は11名在籍、うち道外が10名(東京2、静岡2、埼玉3、神奈川、茨城、兵庫)、道内が1名(札幌)

○新1年生は7名在籍、うち道外が4名(東京2、大阪、岩手)、道内が3名(札幌2・清里)からの生徒です。

全校生徒28名で、全校生徒が高校寮に入寮し、高校と産業学習との生活で新年度が始まります。

本校は、約8割が道外からの生徒であり、親元を離れ、日高の雄大な大自然の中での体験活動と、高校での学習活動により、人としての自立・自律を学び、同年代や地域の方々、学校と産業学習の教職員との触れ合いを通して、人格の育成できる教育施設です。

今年度も地域社会との繋がりを大切にする「コミュニティ・スクール」の充実・発展を目指しております。

教職員それぞれの個性を活かし、協働体制を確立することが、学校力を何倍にも高める可能性があります。私も含め、教職員(12名)で、協同生活をする中で、嬉しいことや困難なことがあると思います。年齢構成や教職の経験年数も様々ですが、「一人で悩まず」、生徒や教職員の情報共有を図り、全員で協働した職場にしたいと考えております。生徒や保護者が日高高校に入学させて良かったと思えるよう、日高高校の躍進による成果を一人ひとりが実感して、この高校で勤務できたことの喜びや感動を得ることができるよう、全教職員が自覚してご協力をお願い申し上げます。

## 平成31年度 学校経営シラバス

平成31年度の学校要覧・教育計画に掲載する学校経営方針に基づいて、今後も教育活動の推進にご尽力をお願い致します。

### 1 学校経営方針

#### 1 校訓

『樹の如く伸びよ』 『星の如く輝け』

#### 2 学校教育目標

・自立する人間 ・共創する人間 ・錬磨する人間

#### 3 育成を目指す資質・能力

- (1) 自ら課題を見つけ、学ぶことへの探究心を育み、自己の肯定感を育成する。
- (2) 多様な価値観を受容し、豊かな心を育み、調和のとれた人間性を育成する。
- (3) 地域の教育資源を有効に活用し、生徒自身が学びに向かう態度を育成する。

#### 4 重点目標

- (1) 自他の存在を認め、自身の生き方を模索し、将来の目標を見極め実現できる学校
- (2) 基本的な生活習慣や規範意識を育て、社会に貢献できる資質・能力を育てる学校
- (3) 基礎基本の定着を図り、様々な体験学習を通して人間性豊かな生徒を育てる学校

#### 5 教育課程編成の方針

- (1) 生徒一人ひとりの能力・適性等に応じた教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 社会の変化や生徒の状況に応じた柔軟な教育課程の編成・実施に努める。
- (3) 学校外学修の単位認定を推進し、柔軟な教育課程の編成・実施に努める。

#### 6 指導上の重点事項

##### (1) 学習指導

- ① 少人数指導を活かし、個に応じた効果的な学習指導により、学力の向上を目指す。
- ② 学び直しや個別指導により、学習意欲の喚起と基礎・基本的な学力の定着を図る。
- ③ 教科シラバスの活用により到達目標を明確にし、主体的な学習の態度を育成する。
- ④ 生徒の実態を踏まえ、教育課程の編成・実施と評価に基づく授業改善に取り組む。

##### (2) 生徒指導

- ① 高校生としての自覚を促し、基本的な生活習慣の確立と、授業規律の定着を図る。
- ② 外部機関や専門機関との連携を強め、生徒情報の共有をし、生徒の支援に務める。
- ③ 特別活動等により、人間としての在り方・生き方を考えさせ、社会性を育成する。
- ④ 部活動や体験学習等で、自己の肯定感や有用感を持たせ、生活の態度を育成する。

##### (3) 進路指導

- ① キャリア教育の全体計画に基づき、生徒の計画的・系統的な進路指導を実践する。
- ② 職業観・勤労観の育成により、生徒及び保護者に進路目標達成の意識高揚を図る。
- ③ 適切な情報提供と関係機関との連携を図り、生徒に適切な指導・助言を実践する。
- ④ 職業体験・上級学校説明会等の継続的な指導実践により、進路目標の達成を図る。

○詳細については、別紙参照